

石巻専修大学

代表電話番号
**0225
(22) 7711**
入試専用FAX
**0225
(22) 7809**

「石巻専修大学」ホームページ <http://www.isenshu-u.ac.jp>

「社会知性」備えた人に

2012年度入学式

坂田学長がメッセージ



▲ 入学式の様子

2012年度入学式が4月4日、体育館で行われた。今年度は理工学部144人、経営学部124人、合わせて268人の学部生と、大学院生5人、合計273人の新入生が式に臨み、保護者や教職員で埋まった館内は祝福ムードに包まれていた。

「初めて」に対処できる力を

式辞の中で坂田隆学長(宮城県石巻西高)が力強く宣言。全員で校歌を斉唱し、式を終えた。式終了後には「入学方

式辞の中で坂田隆学長(宮城県石巻西高)が力強く宣言。全員で校歌を斉唱し、式を終えた。式終了後には「入学方



▲ 学部総代の佐藤さん



▲ サークル勧誘でにぎわうキャンパス

式場外ではサークル団体による新入生勧誘が活発に行われる姿や、保護者や友人同士で記念写真を撮る姿も見られ、キャンパスは活気にあふれていた。



▲ 緊張の面持ちの新入生

新入生オリエンテーション・セミナー 履修相談、サークル紹介など開催

新入生オリエンテーション・セミナーが4月9、10日の両日、宮城県松島大観荘で開かれた。新入生がキャンパスライフに早くなじめるよう、このセミナーでは学外施設に宿泊し、集中的に研修プログラムが実施される。今年度は講演や理工・経営両学部に分かれての履修相談や学科説明、サークル紹介などが行われ、教員や上級生たちが熱心に大学生活の意義や魅力を伝えた。新入生たちは大学生活の様子を知り、新たな仲間との親ほぐを深めていた。



▲ ガイダンスでは、履修の仕方などを詳しく説明

坂田隆学長式辞



いた大学運営を基本方針として、通常の講義科目に加えて、演習や実習・実験などの授業を多く採り入れ、また赤、宮城県などの地域を身につけて社会の屋台骨を支え、活用した授業を重視して非常事態の中で、石巻専修大学の学生や教職員は「初めて出合うこと」にみごとな活躍をします。被災した方おら

復興支援にも積極参加を

石巻専修大学は学校法人専修大学のもとに「社会に対する報恩奉仕」を建学の精神として、地域社会の大きな支援を得て、平成元年に開学しました。学校法人専修大学の使命です。また、本学の教育目標「社会的な知識や技術を身に

石巻西高と高大接続研究事業を締結



本校は宮城県石巻西高と高大接続研究事業「協定調印式」に坂田学長、奥山恒義校長ら関係者14人が出席した。調印された協定書、合意書を交換した。今回は本学と高校との協定締結は6校目。今後は、①高校生に対する本学の授業科目の公開②本学教員の高校への派遣③相互施設の開放など、積極

新専任教員紹介

2012年度の新専任教員は理工学部1人(4月1日付で就任)。本学の教員数は161人(専任教授・博士(工学)91人、非常勤70人)と主担当は工作学、精密加工学

和田賢大さん「日本機械学会 島山賞」を受賞



和田さんは機械工学科自動車工学コースに在学当時、自動車関連科目のみならず、熱力学、流体力学系でも優秀な成績を収めた。昨年の学生自動車整備コンテストでも好成績を残し、これらの点が評価された。

坂田学長が「食品の安全性」解説

坂田隆学長(専門「比較栄養生理学」)が、ドイツのマルティン・ルター大学ハレ・ウィッテンベールから来日したコネリア・ライヤーさんの聞き取り調査を受けた。同氏は専修大学の国際交流協定校。ライヤーさんは、日本学と社会学などを専門とする同大学研究員。日本の社会学の一環として



3月2日には、専修大学神田キャンパスに上京中の坂田学長を訪ねた。坂田学長は日本の食品の基本的状況、東日本大震災後の石巻の復興状況、日本の食品の放射能基準値、石巻専修大学に設置準備中の理工学部食環境学科の取り組みについて丁寧に解説した。